

- 一日 時 令和＊年＊月＊日（＊曜日）第＊限（50分）
- 二学 級 第二学年＊組（＊名）
- 三 単元名 テーマに沿った和歌を選定し、「五人一首」を編集しよう
- 四 単元の目標
 - （1） 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。（「知識及び技能」（1）のエ）
 - （2） 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。（「思考力、判断力、表現力等」A「読むこと」（1）のオ）
 - （3） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。（学びに向かう力、人間性等）
- 五 取り上げる言語活動と教材
 - （1） 言語活動

設定したテーマに沿って、さまざまな歌集を調べて和歌を選び、「五人一首」にまとめる活動。
（「思考力、判断力、表現力等」A「読むこと」（2）のオを参照）
 - （2） 教材

『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』など
- 六 単元の評価規準
 - （1） 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。（知識・技能）
 - （2） 「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。（思考・判断・表現）
 - （3） テーマに沿った和歌を選び、「五人一首」にまとめる活動を通して、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深め、粘り強く内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしようとする中で、自らの学習を調整しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）
- 七 指導観
 - （1） 単元観

テーマに沿って和歌を選定する活動を通して、和歌に詠まれた心情や情景を読み深める単元である。また、内容や解釈を自分の知見と結び付けて和歌を読み味わうことで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
 - （2） 学習者観

和歌に対して苦手意識をもつ生徒が多い。また、古典作品を自己の知見と結び付けて捉えることが不得手な生徒も多い。「五人一首」の編集を通して、和歌に対する興味関心をもたせ、和歌に親しむとともに豊かな表現力を養いたい。
 - （3） 教材観

和歌は限られた字数の中で、作者の心情や情景を表す日本の伝統的な歌の形式であり、作者の心情や情景を読み取る活動に適した教材である。また、和歌を多様な角度から詠むことで、生徒の想像力や感受性を養うことができる意義深い教材である。
- 八 単元の指導計画（配当時間5時間）

次 時間	学 習 活 動	留意点	評価上の留意点
	・ 提示された和歌について	・ 既習の修辞法や文法事項が *生徒への支援の手だて	◇（知） 評価上の留意点 ◇観点 □点検・確認 ■分析 *「努力を要する状況」と評価した生徒への支援の手だて

資料 6

第3次 1時間	第2次 2時間	第1次 2時間
<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価を参考に、五人一首を編集し直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でテーマを決め、さまざまな和歌の中からテーマに沿った和歌を五首選び、ワークシートⅡにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで調べたことを共有し、テーマについて話し合う。
<ul style="list-style-type: none"> ・作品を回読し、相互評価させる。 ・各自「よかった点」と「改善した方がよい点」についてコメントさせる。 ・疑問点があれば編者に質問させる。 <p>*この後、相互評価を参考に編集し直すことを示しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に「改善した方がよい点」を参考に、より適した和歌をタブレット端末等を用いて調べさせ、一首変更させる。 <p>*改善の過程が分かるようにまとめさせる。</p> <p>*評価が分かれたときは、自</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験や思い、考えなどを踏まえ、表現したいことを基にテーマを決めさせる。 ・タブレット端末等を用いてできるだけ多くの和歌を調べさせる。修辞法等にも着目させ、よりテーマに即した和歌を選ばせる。 *言葉の響きやリズムを味わうとともに、自分の思いや考えがより強く詠まれた和歌を選ぶよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認できるような和歌を、指導者が提示する。 ・「解釈」「修辞法・文法事項など」の二点について調べさせ、まとめさせる。 ・調べたことを基にテーマを読み取らせる。その際、できるだけ具体的にテーマを述べさせる。 *多くの情報の中からより適切かつ分かりやすい情報を収集するよう助言する。 ・調べたことがグループ内で異なる場合は、調べ直すなどして修正や加筆をさせる。 ・よりふさわしいテーマになるよう検討させる。
<p>◇(思)(態)</p> <p>■「記述の分析」(ワークシートⅡ・振り返りシート)</p> <p>*グループ内で助言をもらいながら編集し直す。</p>	<p>◇(思)(態)</p> <p>□「記述の確認」(ワークシートⅡ)</p> <p>*自分が表現したいことを明確にしてテーマを決めるよう助言する。</p> <p>*現代語訳や解釈、解説等を参考にして選ぶよう助言する。</p>	<p>□「記述の点検」(ワークシートⅠ)</p> <p>*積極的に話し合いに参加させ、グループ内で助言をもらいながら、ワークシートⅠにまとめさせる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の活動を振り返る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・分がいちばん納得した意見を参考させる。 ・今回の活動を通して、学んだこと等について振り返らせる。

- 九 本時の具体的な目標
他者からの評価を受け、よりテーマに沿った和歌を一首選び「五人一首」を編集し直すことができる。
- 十 本時の具体的な評価規準
他者からの評価を受け、よりテーマに沿った和歌を一首選び「五人一首」を編集し直すこととしてある。
- 十一 本時（全5時間中の5時間目）の指導

学習段階	学習内容	学習活動	言語活動における指導上の留意点
導入 (5分)	・本時の学習内容を 知る。	①本時の目標と言語活動について確認する。	①前時に編集した五人一首をグループ内で相互評価することを理解させる。また、相互評価を参考に再編集することも示しておく。
展開① (15分)	・相互評価をする。	②グループ内(三〜四人)で作品を回読し、相互評価をする。	②班員には、「よかった点」と「改善した方がよい点」についてコメントさせる。疑問点があれば編者に質問するよう促す。
展開② (20分)	・編集し直す。	③相互評価を参考に、五人一首を編集し直す。	③特に「改善した方がよい点」を参考にし、より適した和歌をタブレット端末等を用いて調べさせ、一首変更させる。その際、改善の過程が分かるようにまとめさせる。
終結 (10分)	・自己の活動を振り返る。 ・次時の内容を知る。	④振り返りシートを記入する。 ⑤新しい単元に入ることを確認する。	④今回の活動を通して、学んだこと等について振り返らせる。 ■ワークシートII・振り返りシートを回収し、ルーブリックにより評価する。

十二 ルーブリック
※教師用

観点	A	B	C
テーマに沿った和歌を選定することができる。 (思考・判断・表現)	自己の定めたテーマに沿って、修辭などにも着目し、自己の思いや考えが表現された和歌を的確に表現された和歌を選定している。	自己の定めたテーマに沿って、自己の思いや考えが表現された和歌をむね選定している。	自己の定めたテーマに沿って、和歌を選定している。

資料6

※生徒用

資料 6

十三 御高評

観点	テーマに沿った和歌を選ぶ。 (思考・判断・表現)
A	自分の定めたテーマに沿って、修辞などにも意識をし、自分の伝えたい心情や情景を的確に描いている和歌を選ぶことができた。
B	自分の定めたテーマに沿って、自分の伝えたい心情や情景を描いている和歌をおおむね選ぶことができた。
C	自分の定めたテーマに沿って、和歌を選ぶことができた。

資料 6

く和歌く ① 「テーマ」を読み取ろう ワークシート I

- 次の和歌①く④について、【解釈】・【修辞法・文法事項】について調べよう。
 - 調べたことを基に「テーマ」を読み取ろう。
- ←
- 調べたことをグループで共有しよう。異なるところがあれば調べ直して修正しよう。
 - 「テーマ」についてグループで話し合い、よりふさわしい「テーマ」を考えよう。

① 和歌

あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る

【解釈】

作者・出典（

額田王 ・ 万葉集

）

【修辞法・文法事項など】

「テーマ」

■ グループで共有したこと・修正した点等をまとめよう。



■ グループで考えた「テーマ」

資料 6

■グループで考えた「テーマ」

■グループで共有したこと・修正した点等をまとめよう。



「テーマ」

【修辞法・文法事項など】

【解釈】

作者・出典（

紀貫之・古今和歌集

）

②和歌

むすぶ手のしづくににこる山の井の飽かでも人に別れぬるかな

組		
	番	
		氏名

[Empty box for notes]

■グループで考えた「テーマ」

[Empty box for notes]

■グループで共有したこと・修正した点等をまとめよう。



「テーマ」

[Empty box for notes]

【修辞法・文法事項など】

[Empty box for notes]

【解釈】

作者・出典（


源宋于 ・ 古今和歌集

）

③ 和歌

山里は冬ぞさびしさまさりける人めも草もかれぬと思へば

資料 6

	■グループで考えた「テーマ」		■グループで共有したこと・修正した点等をまとめよう。		「テーマ」		【修辞法・文法事項など】		【解釈】	作者・出典（	式子内親王・新古今和歌集	）	④和歌	玉の緒よ絶えなば絶えねながらば忍ぶることの弱りもぞする
--	----------------	--	----------------------------	--	-------	--	--------------	--	------	--------	--------------	---	-----	-----------------------------

資料 6

く和歌く ② 「五人一首」を編集しよう ワークシートⅡ

組	番氏名
---	-----

- テーマを決める。そのテーマに沿った和歌をタブレット端末などで調べて五首選ぶ。
- それぞれの和歌について、【歌意・修辞法など】【選んだ理由・込められた思いなど】についてまとめる。

☆テーマ

--

□ そのテーマにした理由・テーマに込められた思いなど。

--

① 和歌

--

作者・出典（

）

【歌意・修辞法など】

--

【選んだ理由・込められた思いなど】

--

資料 6

【選んだ理由・込められた思いなど】

【歌意・修辞法など】

作者・出典（

）

③
和歌

【選んだ理由・込められた思いなど】

【歌意・修辞法など】

作者・出典（

）

②
和歌

資料 6

【選んだ理由・込められた思いなど】

--

--

【歌意・修辞法など】

作者・出典（

）

⑤ 和歌

--

【選んだ理由・込められた思いなど】

--

--

【歌意・修辞法など】

作者・出典（

）

④ 和歌

--

資料 6

【変更した理由・編集し直してよくなった点など】

【歌意・修辞法など】

【歌意・修辞法など】

作者・出典（

）

和歌

和歌

□

番の和歌を変更



よりよい五人一首になるように、一首変更して、編集し直そう！

△改善点

△改善点

◎よかった点

◎よかった点

●相互評価を受けて

資料6

「五人一首」相互評価表 編者（ ）（組）（ ）（番）（ ）
 ■①・②の項目について5点満点で評価をし、「○よかった点」「△改善した方がよい点」について具体的にコメントをしよう。

【 評価者 】	
①テーマに沿った内容になっているか 5 . 4 . 3 . 2 . 1 ○よかった点	②編者の伝えたい心情や情景が伝わってきたか 5 . 4 . 3 . 2 . 1
△改善した方がよい点	

【 評価者 】	
①テーマに沿った内容になっているか 5 . 4 . 3 . 2 . 1 ○よかった点	②編者の伝えたい心情や情景が伝わってきたか 5 . 4 . 3 . 2 . 1
△改善した方がよい点	

【 評価者 】	
①テーマに沿った内容になっているか 5 . 4 . 3 . 2 . 1 ○よかった点	②編者の伝えたい心情や情景が伝わってきたか 5 . 4 . 3 . 2 . 1
△改善した方がよい点	

① 今回の活動を振り返って自己評価をしよう。

観点	A	B	C
テーマに沿った和歌を 選ぶ。	自分の定めたテーマに沿って、 修辞などにも意識をし、 自分の伝えたい心情や情景 を的確に描いている和歌を 選ぶことができた。	自分の定めたテーマに沿って、 自分の伝えたい心情や 情景を描いている和歌をお おむね選ぶことができた。	自分の定めたテーマに沿って、 和歌を選ぶことが できた。

② 今回の活動を通して「学んだこと・身に付いたこと・ものの見方や感じ方、考え方が深まったと思うこと」について論じよう。

③ 今回の活動を終えて「今後の学習や生活に生かしたいこと」について論じよう。

④ 活動を終えた現在の心情を、短歌5-7-5-7-7 (現代語でよい) で表現しよう。